

消費における主観的ウェルビーイング 四類型尺度の開発

— ブリコラージュ, エンジニアリング, セレンディピティ, リーンの視点から —

武蔵野美術大学 客員研究員

水師 裕

株式会社クロス・マーケティング

高橋 望

株式会社クロス・コミュニケーション

田口 功一郎

キーワード

幸福, 自然 (じねん), 非即時的な満足, プロテスタント的消費, 近代合理主義

I. はじめに

わが国でマーケティングの研究や実務に幸福やウェルビーイング (well-being: 以下, WBと表記) を取り入れようとする場合, 北米を中心とした心理学や消費者行動研究の「科学的知見」を翻訳して利用する機会が多いのではないだろうか。しかしながら, 例えば東洋においては, 近代合理主義に基づく科学的アプローチから捨象される, 孔子の説く五常 (仁, 義, 礼, 智, 信) や仏陀の説く解脱, 無我などから得られるWBの側面も存在する。そこで本研究では, 近代合理主義から捨象されたWBの側面とその側面に關わる消費の側面を取り入れた新たなWBの測定尺度を提案し, わが国のマーケティングにおけるWB把握への異なる視座を提供することを目指す。

II. 先行研究と概念モデルの設定

本研究では, 幸福感を主観的に評価する主観的ウェルビーイング (subjective-well-being: 以下, SWBと表記) の視点から尺度開発を行う。心理学では, SWBの視点から尺度開発が行われ, SWBの測定可能性が実証されてきた。しかしながらそのほとんどが北米など西洋圏での研究であり, 日本におけるWB研究は, その尺度を翻訳利用したものが多い。そこで, 仏教における自然 (じねん) の概念を援用し, 非近代合理主義的な側面のWBについて検討した。

また, 非近代合理主義的な側面に關わる消費の側面に

ついて, プロテスタント的消費の概念 (川口, 2018), ならびにブリコラージュ (bricolage) 概念 (Lévi-Strauss, 1962/1976) を手がかりに, 新たなWB概念モデルを構築した。

構築した概念モデルでは, 消費における非西洋近代的なWBのあり方としてブリコラージュとセレンディピティという2つの側面, ならびに消費における西洋近代的なWBのあり方としてエンジニアリングとリーンという2つ側面を識別した。

III. 実証分析

構築した概念モデルに基づき測定尺度の開発を行った。開発した尺度には「消費における主観的ウェルビーイングの四類型尺度」と名付けた。本研究が実証的な方法で尺度開発を行った以上, 近代合理主義の枠組みから本研究は自由ではない。しかしその中においても, 非近代合理主義的なWBの側面を把握することができたと考えられる。

IV. おわりに

提案された尺度を実務的に活用することにより, わが国の消費とWBの関連について, 西洋的な既存尺度ではつかめなかった新たな発見を提供できる可能性がある。例えば, 自社製品の顧客価値がいかなるWBの側面と関連しているのかを把握することができる。理論的には, 西洋近代合理主義に基づくWB測定尺度が主流を占める中, 消費側

面を含む非西洋近代合理主義的なWB尺度を提案した点において、マーケティングと幸福に関わる研究に新たな視座を提供できたものと考えられる。

主要引用文献

- Devezer, B., Sprott, D. E., Spangenberg, E. R. & Czellar, S. (2014). Consumer Well Being: Effects of Subgoal Failures and Goal Importance. *Journal of Marketing*, 78 (March), 118-134.
- Diener, E., Emmons, R. A., Larsen, R. J. & Griffin, S. (1985). The Satisfaction With Life Scale. *Journal of Personality Assessment*, 49(1), 71-75.
- Diener, E., Oishi, S., & Lucas, R. E. (2003). Personality, Culture, and Subjective Well-Being: Emotional and Cognitive Evaluations of Life. *Annual Review of Psychology*, 54, 403-425.
- 川口高弘 (2018). 『価値共創時代におけるマーケティングの可能性 -消費と生産の新たな関係-』ミネルヴァ書房
- Lévi-Strauss, C. (1962). *LA PENSÉE SAUVEGE*. Paris: Librairie Plon. (大橋保夫 (訳) (1976). 『野生の思考』みすず書房)